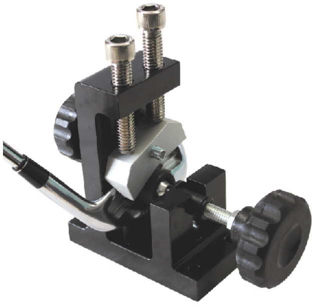
5604-0291 簡易式ロフト･ライ調整器
取扱説明書

ヘッドをしっかりと保持できるロフトライ調整器



2本の保持ボルトを備えたアルミ製トップクランプと、多様な形状のソールに対応可能なピン型ソールクランプ、さらにキャビティバック、マッスルバックの双方に対応可能なバッククランプを備え、ヘッドを強固に保持することが可能な簡易型のロフトライ調整器です。調整には別売のベンディングバーが必要になります。また、測定機能については、別売の携帯型ロフト･ライ計測器II(#5904-0251)等を利用することで、補うことが可能です。本体を作業台に直接固定するか、万力等で本体を挟んで固定した上で使用して下さい。

〔組立〕

■図1のように、バッククランプを本体に取り付けます。バッククランプ先端には、樹脂カバーを取り付けて下さい。キャビティバックのアイアン等で、樹脂カバーを装着するとキャビティを適切にクランプできない場合は、樹脂カバーを取り外し、ヘッドを傷つけないよう、クランプとヘッドの間に緩衝材を挟んで下さい。

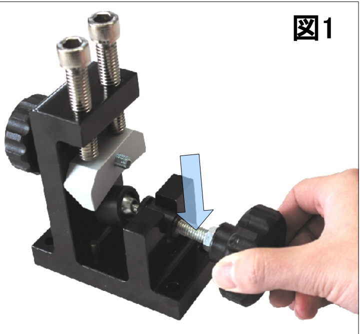
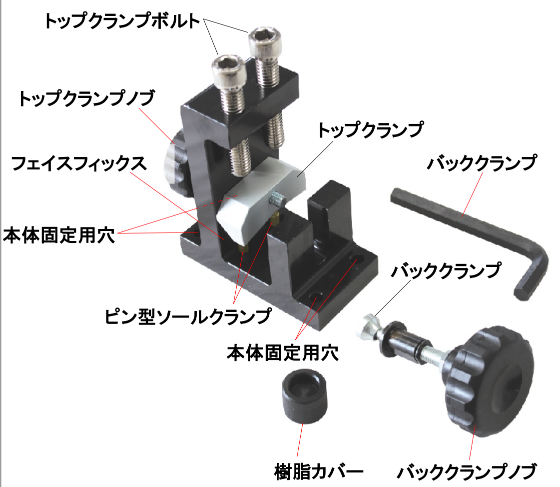


図1

〔各部の名称〕

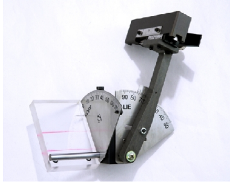


〔設置〕

■作業台等への固定では、本品に備えられた4つの固定用穴を利用します。機器の動作に支障が出ないよう、作業台の天板厚み寸法に応じ、適切な固定ボルト等をご用意下さい。作業台にしっかりと固定された万力で本体を挟み、使用することも可能ですが、いずれの設置方法においても、作業台、万力共に重量があると、調整が容易になります。

別売関連用品のご案内

ラチェットベンディングバー
(5601-0002)



携帯型ロフト･ライ計測器II
(5904-0251)

〔ロフト･ライ調整方法〕

必ず、事前に調整するヘッドの材質をご確認下さい。
軟鉄、ソフトステンレスは調整可能な場合が多いですが、表面にメッキがある場合等、調整により破損することもあります。

[クラブの固定]

(1) ヘッドの傷付きを防ぎたい場合は、各接触面に保護のためのテープを貼るか、厚手のビニール等に包んでから、作業して下さい。ただし、テープやビニールによる遊びが大きくなると、調整時に力が逃げやすくなりますのでご注意下さい。

(2) ヘッドのフェイス面を本体のフェイスフィックスにぴったりと沿わせ、また、ソール面が2本のピン型ソールクランプにしっかり接するよう、注意しながら、トップクランプを徐々に下ろし、ノブを締めてヘッドを固定します。トップクランプは、さらに2本のトップクランプボルトでも、しっかりと押さえて下さい(図2)。固定時、サンドブラストのトゥ側のライン等を、ヘッドの固定位置の目安とすると、調整時に動いてしまった場合等、容易に判別できます(図3)。

(3) ヘッド後方からは、バッククランプで固定します(図4)。キャビティが小さく、樹脂カバーを取り付けた状態では、しっかり固定できない場合は、樹脂カバーを取り外し、傷付き防止のため、別途、樹脂片等をヘッドとクランプの間に挟んで固定して下さい。

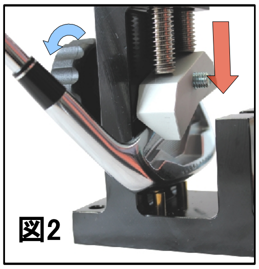


図2

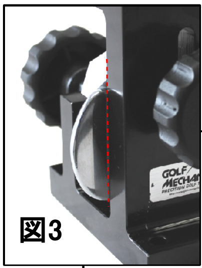


図3

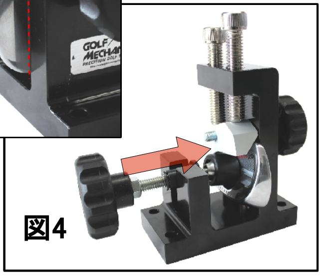


図4

[ロフト･ライの調整]

(1) ベンディングバーでホーゼルをクランプし、調整しますが、ロフト、ライ、それぞれ調整する向きに注意して下さい(図5A、5B)。

(2) 過度な調整は、ヘッド破損に繋がりますので、計測を実施しつつ、少しずつ調整して下さい。

図5A
(ライ方向)

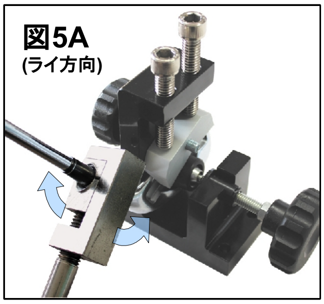
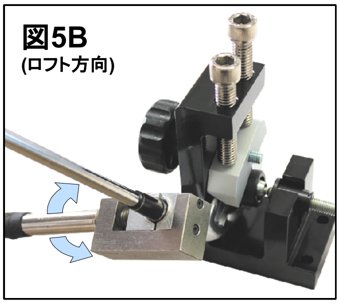


図5B
(ロフト方向)



株式会社 ジオテックゴルフコンポーネント　千葉市中央区鶴沢町8-6
TEL. 0120-168-188　FAX.0120-655-188　http://www.geotechgolf.com/